

2014年7月1日

〒530-8270 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
関西電力株式会社
取締役社長 八木 誠 様

石炭火力発電所問題を考える市民ネットワーク
代表世話人 森岡 芳雄 (兵庫県保険医協会理事)

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-6-17

大栄ビル10階 兵庫労連内

tel(078)335-3770 fax(078)335-3830



申し入れ書

貴社は、2014年4月8日、150万KW火力発電の入札を行うことを公表されましたが、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書が、「地球温暖化は産業革命以降の人間活動が要因であった可能性が極めて高い(95%以上)、大気中の二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は、過去80万年間で前例のない水準まで増加、今世紀末までに世界平均地上気温は最大4.8℃上昇する可能性が高い」と指摘し温暖化ガス削減は一刻の猶予も許されない事態だと警鐘をならしているにもかかわらず、火力発電の入札を行うなどは愚の骨頂といわざるを得ません。

さらに、新聞報道によれば、神戸製鋼所が神戸製鉄所の高炉を廃止し、跡地に石炭火力発電所140万KWを増設して応札するそうですが、CO₂排出原単位(注)がもっとも悪い燃料である石炭を選択することは許されることではありません。

国の温暖化ガス削減中期目標(25%削減)は、安部自民・公明連立内閣が放棄し京都議定書第2約束期間への不参加を表明したため明確な目標がなくなっていますが、長期目標は国内80%削減が閣議決定されており、この目標を達成するためには、石炭火力発電などの化石燃料の発電でなく、スマートグリッド等のエネルギーインフラを整備し、再生可能エネルギーにシフトしていく必要があります。

以上の理由により、火力電源の入札募集を撤回することを申し入れます。

以上

(注) 石炭火力発電で最も効率がよいといわれるIGCC(石炭ガス化複合発電)は、48%の熱効率、CO₂排出原単位は700g-CO₂/Kghですが、LNGの熱効率58.6%、CO₂排出原単位350g-CO₂/Kghと比べると非常に多い。有馬温泉・城崎温泉・湯村温泉で地熱発電すればさらに少ないCO₂排出となる。